かぬまフラッシュ KANUMA★FLASH

ときには優雅にお花見を

－花見 DE 人力車－

4月９日、東部台ふれあいさくらまつりのPRイベント「花見 DE 人力車」が、桜並木が続くさつき大通りで行われました。人力車に乗っていつもとは一味違った花見を楽しむこの催しは、今回初めて企画されました。

参加者たちは風情ある人力車に揺られながら、満開の桜と風に吹かれて舞い散る花びらを眺め、優雅なひとときを過ごしました。

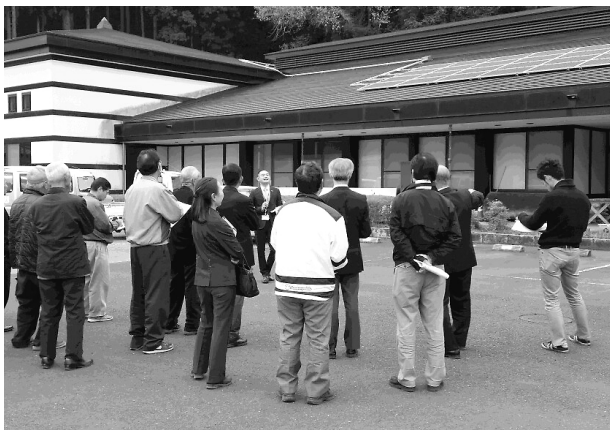
加蘇コミュニティセンターに非常用電源を整備

－加蘇地区環境学習会－

4月13日、加蘇コミュニティセンターで環境学習会が開催され、３月に完成した太陽光発電・蓄電設備が披露されました。

コミュニティセンターの屋根に設置した太陽光パネルで発電した電力を、建物内の蓄電池に充電。万が一災害発生時に停電した場合でも、照明やコンセントに使うための電力を蓄えておくことが可能になりました。

この日は地区住民など約 30 人が参加し、設備メーカーの担当者の説明を聞きながら、エコと防災についてクイズ形式で学びました。



つくること、食べることについて考えよう

－農業委員の食育事業－

4月15 日、食育事業の一環として農業体験から食べることについて考えてもらおうと、板荷小学校の児童を対象に「じゃがいも植え」が行われました。

女性農業委員が中心となって植え方の指導を行い、同校ボランティア団体の協力のもと、約20kgの種芋を植えました。参加した66人の全校児童たちは「元気に育ってほしい」「おいしいじゃがいもが食べたい」と7月の収穫を楽しみにしていました。

被災地へ繋がる絆
－熊本被災地へ支援物資を送達－

4月18日、熊本地震に伴う支援として、飲料水500ミリリットルペットボトル2016本（1,008リットル）と毛布500枚を送るため、輸送トラックが市北部防災コミュニティセンターを出発しました。

栃木県トラック協会鹿沼支部の協力のもと輸送し、翌日早朝に大津中学校（熊本県菊池郡大津町）に到着。被災地へ支援物資が送り届けられました。

共につくり上げる福祉のつどい
－ふれあいフェスタinかぬま－

4月24日、市民情報センターで「ふれあいフェスタ in かぬま」が開催されました。

来場者は手話や点訳、車いすの体験や、スタンプラリー、ステージ発表を通して、多くの中高生ボランティアと共に福祉への理解と関心を深めました。また、家庭に眠っている食品を活用するフードドライブの取り組みには、多くの食品が提供されました。

併せて、熊本地震義援金の募金活動も行われ、集められた募金は、熊本県共同募金会へ送られます。

ツツジの名所によってがっせ!!
－城山つつじまつり－

4月24日から5月4日まで、城山公園で開催された城山つつじまつり。約2万本のツツジが園内を鮮やかなピンク色で彩りました。期間中には、ステージで歌謡ショーやフラダンスなども行われ、来場者の目と耳を大いに楽しませました。また、24日には口粟野横町通りで「あわのよってがっせ横丁まつり」も行われ、城山つつじまつりと併せて粟野の魅力を存分にアピールしました。